



園長だより

NO. 4 2024年2月 園長 押部 直也

今回の園長だよりは、今月に行われる3歳児～5歳児クラスの「劇ごっこの会」についてです。例年の「発表会」を今年度から「劇ごっこの会」へと変更した思いや、各学年での考え方についてお伝えしていきたいと思っております。

*発表会のイメージって…？

「劇ごっこの会のお知らせ」でも記載しましたが、『発表会』と銘打ってしまうと舞台の上で緊張しながら演じる…といったようなイメージが先行しやすいかなと思います。(保護者の方々の想像するイメージと違っていたらごめんなさい！)

私達はできる限り子ども達の「楽しい！」という気持ちが続くように行事を考えておりますが、発表会は保育者も知らず知らずのうちに“劇(ダンス)としてしっかり形にして発表しなければ…”と、感じてしまう事が例年ありました。私もクラス担任を任されていた頃(10年程前になってしまいますが…)は、クラスの子も達が上手にできる場所を保護者の方々に見てもらいたい！と思って取り組んでおりました。

もちろん子ども達はとても素直ですから、もし保育者が“形にして発表”を意識して教え、導いたとしたら簡単にできるようになります。ただ、発表会が終わった後に子ども達に芽生える気持ちは「楽しい！」よりも「頑張った！」ではなかろうか…。ひかりこども園の発表会はどうだろう…。この不安が、「劇ごっこの会」へと名前を変更したきっかけでした。

*発表会から劇ごっこの会へ ～大切にしたい思い～

私達が「発表会」で1番大切にしたい思いは、『表現する事や演じる事を純粋に楽しむ』です。そこから各学年やクラスによって保育のねらいをさらに細かく検討していきますが、まずは純粋に表現を楽しむ事！きつとこの気持ちが根幹にある事で、表現する事や演じる事が好きになり、後々の大人へと成長していくプロセスの中できつと生きてくるであろう。頑張る事で得られる達成感も成長に必要な要素ではありますが、子ども達の姿を見て思う事は、舞台の上で緊張しながら演じる発表会はもう少し先の未来で良い…。この思いから、昨年度は発表場所をホールから各保育室へ変更し、今年度から「劇ごっこの会」へと名前を変えることにしました。当日はその思いも汲んでいただき、保護者の方々も一緒に楽しみながら参観していただければ幸いです。

*3歳児クラスでの「劇ごっこの会」への思い

3歳児クラスでは、大好きな絵本や紙芝居を基に、仲の良い友達や先生と一緒に一人ひとりが楽しんで参加できればと思っております。そして、どの学年でも共通して言える事ではありますが、決まった形やセリフを教えるのではなく、特に3歳児クラスでは子ども達が感じたままに表現し、共感し合うことに楽しさを感じてもらえるように取り組んでおります。この純粋に楽しむ体験が苦手意識を軽減し、その後の成長の大きな肥やしになると信じて…。

保護者の方々におかれましては、当日は「発表を見に行く」というより、「クラスで楽しんでいるお話遊びを参観しに行く」というイメージでご参加いただくと幸いです。それでも保護者の方々を見ると緊張したり、泣いてしまったりなど、普段とは違う表情の子ども達もいると思います。だからこそ、当日に起こるであろう予想外のハプニングも楽しんでいただき、「この姿が我が子のすべてではない！」と思いつつ参観していただくようお願い致します。(笑)

*4歳児クラスでの「劇ごっこの会」への思い

4歳児クラスでは、3歳での経験を踏まえながら、劇ごっこを通じてみんなで力を合わせることに楽しさも感じてもらえたらと思っております。また、成長の中で少しずつ芽生えてきている他者への興味関心をさらに広げ、遊びの中から自分の役割を意識して取り組むことで、遊びの質をより高めてもらえるように取り組んでおります。

自分ひとりでは劇ごっこは難しい事に気づき、「みんなでやったからできた。」「みんなでやったからこんなに楽しめた。」という達成感や満足感を感じ、「こんどは〇〇しよう」「次は〇〇のやり方で…」など、友達と思いを共有して今後の生活意欲へと繋げてもらえたら嬉しいです。

当日は、保護者の方々に見てもらうという事を意識して「喜んでもらえるようにやろう！」と思う子や全然思わずに普段通りの姿の子、緊張してうまく表現できなくなる子など、様々だと思います。それもまた4歳児クラスならではの姿だと思いつついただき、足並みを揃えたり、声を合わせたりという部分ではなく、子ども達一人ひとりの個性の違いを尊重した上で『力を合わせる事』を大事にしてきた過程を想像しながら、参観していただければ幸いです。

*5歳児クラスでの「劇ごっこの会」への思い

5歳児クラスでは、できる限り子ども達が『自分達で取り組む劇ごっこの会』という意識を持って取り組んでもらえたらと思っております。子ども達が感じた事や思いを表現して、クラスのみならず劇ごっこの会をつくりあげていく楽しさを感じられるように取り組んでおります。ここで大事になってくるポイントとして、私達保育者は「ご自由にどうぞ！」という姿勢でいるのではなく、子ども達の姿や状況（要求、先の展開も含め）を捉え、子ども達が取り組みやすいように援助していくという事です。子ども達が自発的、自主的に進められるように、おとなが環境を整えるという意識で関わっております。取り組みの中で、問題を出し合ったり、みんなで考えられるようになってくれたら嬉しいです。

5歳児クラスのこの時期では、見に来てくれた人達がどのように感じているかを意識している子が多くなっていると思います。他クラスの友達を招待して、感想を聞いてみるなど、相手側の視点になって考えられるようになってきている事。そしてその中で新たな課題を見つけ、話し合いをしていく、という繰り返しが無意識に培われているような気がします。ただし、そんな発達段階の中でも私達保育者が大事にしていることは、“形にして発表”ではなく、自分達で考えながら取り組み、それを純粋に楽しむという事です。おとなが決めたルールの上を走るのではなく、自分(達)でルールを作ろうと考え、それこそが楽しいと感じられるようになってくれたら…保育者冥利に尽きます。(笑)

保護者の方々におかれましては、当日は上記の保育者の思いや試行錯誤をしてきた子ども達の取り組みの過程を想像していただきながら、「劇ごっこの会を見に来たお客さん」というイメージでご参加いただければ幸いです。

子ども達の感想が「頑張った！」よりも、「楽しかった！」が先に来るような劇ごっこの会を目指して…、私達保育者も学び続けていきたいと思っております。